

「町内会の支援、高齢者の支援について」
石田 町内会の様々なニーズに対してどのように応えていくのか。
市長 町内会支援制度の創設にあたり、困り事や悩み事を集約してきた。しかし、これで完成というわけではなく今後も町内会からの相談を伺っていく仕組みが必要と考えている。
石田 介護制度改正後の高齢者支援はどうなるのか。
政策監 これまでの画一的サービスから、心身や生活状態に合わせた取り組みになる。個々の対応はケアマネージャーと相談して決めていく。
石田 様々な制度ができるが、サービスが行き届くようにするための体制作りはどうか。

市長 市民が積極的に関わることで介護予防にもつながる。市民でできないことは市がバックアップする。窓口は一本化して、各担当部署で連携して対応していきたい。
「成羽地域の公共施設整備について」
石田 地域局とその他数カ所の公共施設を一カ所に集約する計画であるがどのように進めていくのか。
市民生活部長 意見の吸い上げをする。当面は地域局が窓口になる。
石田 厳しい財政状況の中で大丈夫か。
総務部長 公共施設を集約する以上経費削減効果は出していかなければならない。現在想定している4施設だと年間300万円程度の削減効果が見込まれる。

Q. 病後児保育事業の進捗状況は

A. 子育て支援のセーフティーネットとして取り組んでいる。年度内開所を目指している



ここを聞きました

- 町内会支援制度と新しい介護予防について
- 日常生活支援総合事業について
- 今後の公共施設整備について
- 子育て支援について

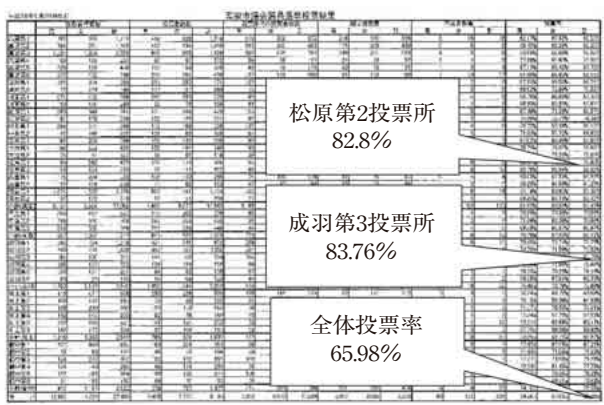
Q. 投票率65.98%をどう捉えるのか

A. 議会とともに取り組むべき課題と考える



ここを聞きました

- 市長の行政運営について
- 教育行政について
- 成羽複合施設（仮称）について
- 高梁市の財政見通しについて



ない。議会とともに取り組むべき課題と考える。
宮田 お互いが今回の投票率を謙虚に捉えながら、4年間この65.98%という数字を念頭に動いていかなければならないと考えている。

Q. 学校適正化の審議会の進捗を問う

A. 「高梁市立学校再編審議会（仮称）」として設立する



ここを聞きました

- 学校教育について
- 公共交通について
- 保育所について
- 防災について
- 公共料金、税金のクレジットカード決済について

「感情論ではなくデータで客観的な結論を」
石井 学校適正化の審議会について改めて進捗を問う。
教育長 現在、「高梁市立学校再編審議会（仮称）」ということで設置要綱を検討している。メンバーは議員、地域の代表、保護者の皆様に学識経験者も加えて慎重に審議したい。
石井 規模的なものと期間、最終的に何を決めるのか。
教育長 規模については15人程度になると考えている。審議をして、骨子がまとまった時点で恐らく中学校区単位で回って、ご意見をいただく。そしてまとめをやり直してから、答申という形になる。期間については、昭和59年の審議会では18回の審議会が開催されているので、今回も1年、あるいはもう

う少し延びる可能性がある。最終的な答申の内容については、学校の再編を含めた教育環境の整備とその計画、必要な事項についても併せて検討する。
石井 現在の出生数から、将来の生徒数がある程度予想できる。将来予測を提示する予定はあるか。
教育長 児童生徒数は重要なデータであり、客観的に数字が出てくるものでもある。この審議会においては、より多くの意見を吸収するためにもそういった資料は原則公開する。
石井 感情論に左右されない、冷静な話し合いで誰もが納得いく結論を出してほしい。
教育長 今の子どもたちをどういった教育環境で育てればいいのかというところに焦点を当てて考えていきたい。

「防災行政無線について」
平松 この施設は、防災情報を知る重要な手段となっている。市は廃止させる方向であるが、市民からは存続してほしいと切実な声がある。残すことはできないか。
総務部長 市の情報伝達手段はケーブルテレビを基幹として、あらゆる情報ツールがある。防災行政無線の存続は予算的に困難である。
平松 国は防災行政無線の役割は大きく重要だと述べているが、市はどう考えているのか。
総務部長 国の通達で、防災ラジオは防災行政無線と同等としている。本市は防災ラジオを整備している。
平松 廃止することなく、全世帯に防災行政無線を設置できないか。

総務部長 多額の費用がかかり困難である。
平松 屋外拡声器も廃止するのか。
総務部長 今後順次廃止していく。
「鳥獣被害対策について」
平松 本市の農業振興上大きな問題であり、年々深刻度が増している鳥獣被害対策を今後どう充実させるのか。
産業経済部長 狩猟者を増やして継続的に駆除していく。
平松 野猿の天然記念物の指定解除の声もあるができないか。
教育次長 天然記念物の解除はできない。
平松 では、どのような対策をするのか。
産業経済部長 専門部署を設けて捕獲、保護に力を入れていきたい。

Q. 防災行政無線の存続を求める

A. 防災ラジオを整備していく



ここを聞きました

- 防災行政無線について
- 鳥獣被害対策について